

株式会社ヤクルト本社

第66期 株主通信

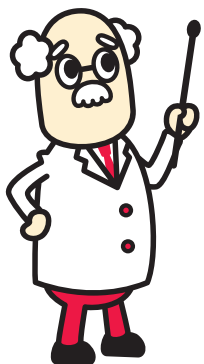
平成29年4月1日～平成30年3月31日

掲載内容

- 01 株主の皆さまへ／連結業績ハイライト
- 03 セグメント別業績概況
- 07 連結財務諸表
- 12 コラム
L.カゼイ・シロタ株の継続摂取が
日本人2型糖尿病患者にもたらす効果
- 13 商品紹介
- 19 ヤクルトのネットワーク
- 21 会社情報

特集

09 数字でわかる！ ヤクルト



3,952万本



8万人

38の国と地域



ごあいさつ



代表取締役社長
根岸 考成

平素は格別のご高配を賜り、あつくお礼申しあげます。

ここに、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの経営成績につきまして、連結の業績を中心にご報告申しあげます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申しあげます。

平成30年6月



私たちは、生命科学の追究を基盤として、世界の人々の健康で楽しい生活づくりに貢献します。

当期について

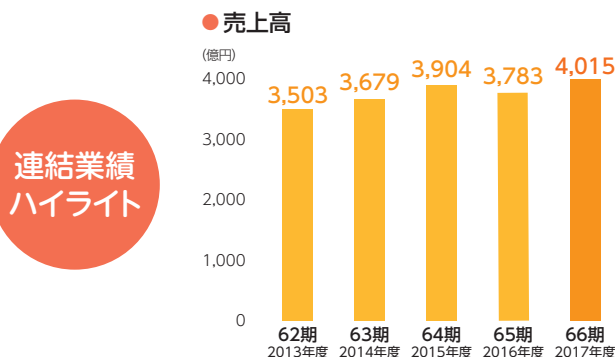
当連結会計年度におけるわが国経済は、海外経済の不確実性の高まりなどを受け、先行きは不透明な状況が続くものの、企業収益が改善し個人消費も緩やかに持ち直しているなど、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の中で、当社グループは、事業の根幹であるプロバイオティクスの啓発・普及活動を展開し、商品の優位性を訴求してきました。また、販売組織の拡充、新商品の研究開発や生産設備の更新に加え、国際事業や医薬品事業にも積極的に取り組み、業績の向上に努めました。

この結果、当連結会計年度の連結売上高は4,015億円(前期比6.1%増)となりました。利益面においては、営業利益は434億円(前期比16.6%増)、経常利益は530億円(前期比7.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は340億円(前期比13.0%増)となりました。

次期について

日本国内における乳製品については、引き続き、ヤクルト類を最重点ブランドとし、「乳酸菌 シロタ株」の科学性を訴求していきます。商品別では、宅配チャネルにおける「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」について、「価値普及」の徹底および当社の研究開発・技術力の訴求により、継続的なブラン



ド活性化を図り、店頭チャネルにおいては、「Newヤクルト」および「Newヤクルトカロリーーフ」を中心に視認性の向上と機能性訴求を通じて、プロバイオティクス市場におけるさらなるシェア拡大を目指します。

海外では、37の国と地域で主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造・販売を行っています。各事業所においては、さらなる事業の拡大、財務体質の強化および収益性の向上を図ります。

医薬品については、本年4月の薬価基準改定により大半の当社製品の薬価が引き下げられました。さらに、当社の主力製品である抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、今後その後発医薬品への切り替えが進むのは避けられない状況です。しかしながら、先発企業として培ってきた情報提供力を基盤とした提案型営業およびこれまで築き上げてきた医療関係者と

の信頼関係により市場を拡大させる活動を展開し、売り上げの確保を図ります。また、当社の後発医薬品群についてもさらなるシェア獲得に注力していきます。

配当について

当社は、株主の皆さまに、安定的な配当を継続して実施していくことを最優先とするため、配当金額のベースを年額30円とし、そのうえで、将来の事業拡大や収益向上を図るための資金需要および財政状況ならびに当期の業績等を総合的に勘案して配当金額を決定しています。

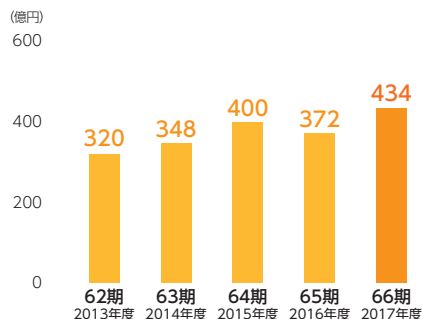
上記の方針のもと、継続して株主の皆さまへの利益還元を図るため、平成30年3月期の年間普通配当金額は、前期に比べて1株当たり2円増配の年額34円としました。すでに中間配当金17円を実施していますので、平成30年3月期末の配当金については17円となります。

その他、株主還元の強化および資本効率の改善を図るため、本年2月に4,864,800株の自己株式を総額360億円で取得するとともに、3月にその全数を消却しました。

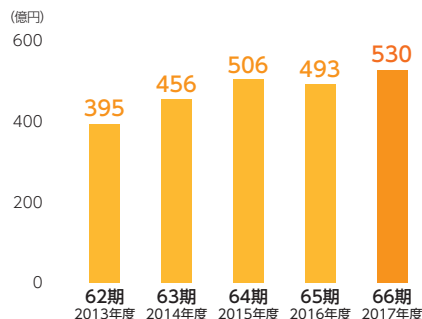
また、次期の配当については、上記方針のもと、安定的な配当の継続的な実施に加え、株主の皆さまへの利益還元の強化を図るため、当期に比べて1株につき6円増配の年額40円を予定しています。

	当期	次期の見通し
売上高	4,015 億円(前期比 6.1%増)	4,180 億円
営業利益	434 億円(前期比16.6%増)	465 億円
経常利益	530 億円(前期比 7.5%増)	565 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	340 億円(前期比13.0%増)	355 億円

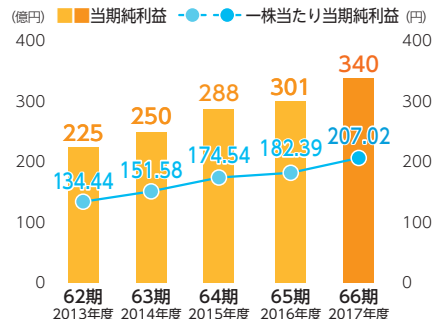
● 営業利益



● 経常利益



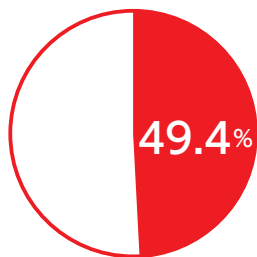
● 親会社株主に帰属する当期純利益／一株当たり当期純利益



Financial Result by Segments

※セグメント別の売上高構成比は、セグメント間売上高の消去前金額に対する構成比です。

飲料および食品製造販売事業部門（日本）



売上高構成比

当期

売上高

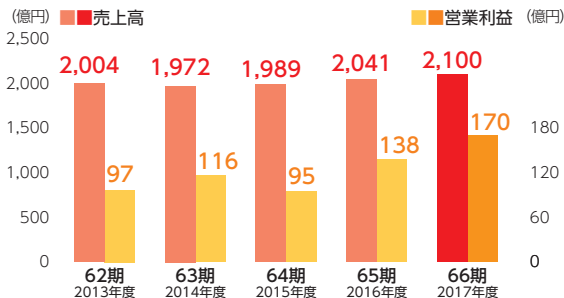
2,100 億円

(前期比: 2.9% ▲)

営業利益

170 億円

(前期比: 23.3% ▲)



乳製品については、当社独自の「乳酸菌 シロタ株」などの科学性を広く訴求するとともに地域に根差した「価値普及」活動を積極的に展開しました。

宅配チャンネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト400」および「ヤクルト400LT」について、新規のお客さまづくりや継続飲用の促進に努めました。また、昨年10月から商品のお届けをインターネット上で申し込むことができる「ヤクルト届けてネット」によるサービスを地域限定で開始し、お客さまの利便性の向上とヤクルトの宅配を利用したことがないお客さまとの接点づくりを目指しました。

店頭チャンネルにおいては、乳製品乳酸菌飲料「Newヤクル

ト」および「Newヤクルトカロリーハーフ」を中心に、プロモーションスタッフを活用した「価値普及」活動を継続的に展開しました。また、昨年11月からパーソナルタイプの乳製品乳酸菌飲料「シンバイオティクス ヤクルト W」を全国のコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどで発売し、新たなお客さまの獲得に努めました。

ジュース・清涼飲料については、栄養ドリンク「タフマン」や血糖値対策飲料「蕃爽麗茶」などの保健機能食品を中心に売り上げの増大を目指しました。また、本年1月には乳酸菌はっ酵果汁飲料「ヤクルトの美味しいはっ酵果実」を全国で発売しました。

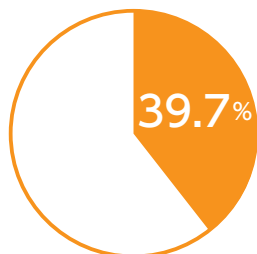
News & Topics
2018

「シンバイオティクス ヤクルト W」のパッケージデザインをリニューアル

「シンバイオティクス ヤクルト W」は、生きて腸内に到達する「乳酸菌 シロタ株」と腸内のビフィズス菌を増やす「ガラクトオリゴ糖」を一緒に摂ることができる、飲みきりやすいパーソナルタイプの乳製品乳酸菌飲料です。このたびリニューアルした新パッケージデザインは、商品名の「W」をより強調することで、乳酸菌 シロタ株とガラクトオリゴ糖が含まれているという商品特長を訴求しています。



飲料および食品製造販売事業部門（海外）

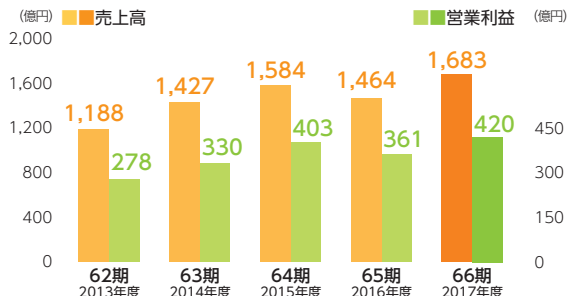


売上高構成比

当期

売上高
1,683 億円
(前期比: 15.0% ▲)

営業利益
420 億円
(前期比: 16.4% ▲)



米州地域

売上高 **501** 億円 (前期比: 10.8% ▲)

米州地域においては、ブラジル、メキシコおよび米国で乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売しています。

同地域では、宅配・店頭の両チャネルにおける販売体制強化を引き続き図りました。

アジア・オセアニア地域

売上高 **1,098** 億円 (前期比: 17.7% ▲)

アジア・オセアニア地域においては、香港、シンガポール、インドネシア、オーストラリア、マレーシア、ベトナム、インドおよび中国などで乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などを製造、販売し、アラブ首長国連邦(UAE)などでは「ヤクルト」を輸入販売しています。

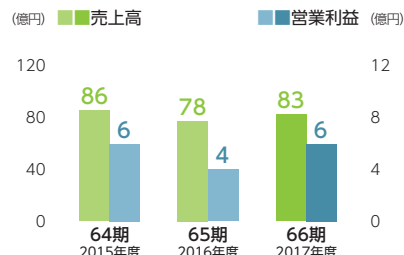
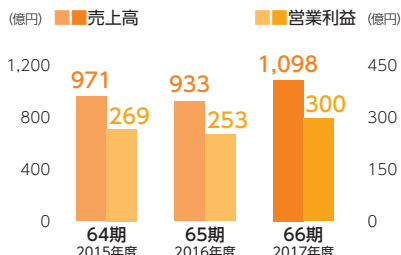
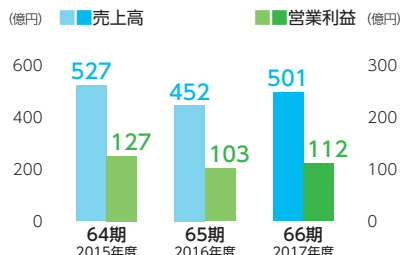
中国においては、本年1月までに中国全体での販売拠点を42か所に拡大し、さらなる販売体制の強化を図りました。また「ヤクルト」の販売本数の増加に伴い、広東省佛山市での新規工場および無錫工場(無錫ヤクルト株式会社)敷地内への第2工場棟の建設を開始しており、2019年の生産開始を目指しています。

ヨーロッパ地域

売上高 **83** 億円 (前期比: 6.9% ▲)

ヨーロッパ地域においては、乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」などをオランダで製造し、同国を含め、ベルギー、イギリス、ドイツ、オーストリアおよびイタリアなどで販売しています。

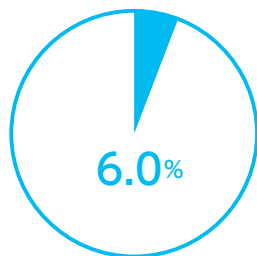
ヨーロッパにおいては、プロバイオティクスを普及するための活動に対する厳しい規制の中で、健康強調表示(ヘルスクレーム)の承認に向け、各種の取り組みを行っています。



Yakult 豆知識 ● その2

ヤクルトには赤いキャップと青いキャップのヤクルトがあり、青いキャップは、カロリーを低減した商品に使用されています。(ヤクルト400、Newヤクルトは赤いキャップ、ヤクルト400LT、Newヤクルトカロリーハーフは、青いキャップです。)

医薬品製造販売事業部門



売上高構成比

当期

売上高

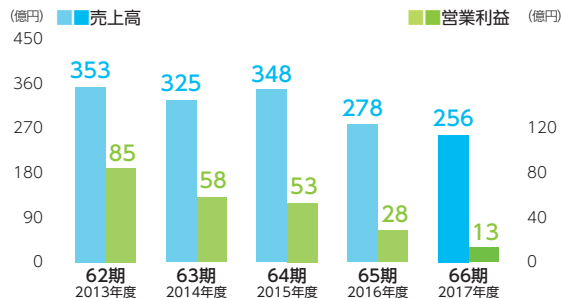
256 億円

(前期比: 7.8% ↓)

営業利益

13 億円

(前期比: 54.2% ↓)



医薬品については、がんおよびその周辺領域に特化した当社製品の啓発活動や適正使用推奨する活動を推進しました。抗悪性腫瘍剤「エルプラット」については、医療関係者を対象とした講演会などを積極的に開催し、シェアの維持・拡大に努めました。「エルプラット」の後発医薬品が上市されて以降、後発医薬品へ切り替える医療機関が増加傾向にあるものの、先発医薬品を開発した当社の強みである情報提供力やこれまで築き上げてきた医療関係者との信頼関係により、引き続き「エルプラット」を選択してもらうよう活動を展開しました。また、サノフィ社と共同プロモーション契約を締結した抗悪性腫瘍剤「ザルトラップ®」については、大腸がん領域における早期浸透

を図るため、積極的な情報提供を実施し、採用に向けた活動を推進しました。そのほか、後発医薬品の当社の主力製品である代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤「ゲムシタピンヤクルト」、骨吸収抑制剤「ゾレドロン酸ヤクルト」およびタキソイド系抗悪性腫瘍剤「ドセタキセルヤクルト」などの販路拡大に努め、売り上げの増大を図りました。

研究開発においては、4SC AG社から導入しているHDAC阻害剤「レスミノスタット」および日産化学工業株式会社と共同開発を進めている血小板増加薬「YHI-1501」などの開発品目の臨床開発を推進しました。これらにより、今後、がんおよびその周辺領域において、さらなる強固な地位の確立を目指します。

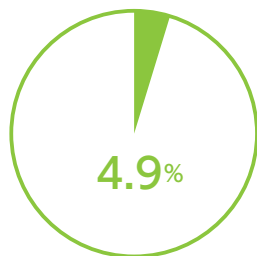
News & Topics
2018

「タフマン」ブランド初の缶容器タイプを新発売

栄養ドリンク「タフマン」の炭酸入り缶容器タイプ「Tough-Man Refresh(タフマン リフレッシュ)」を2018年3月26日に発売しました。「タフマン」の基本特性である高麗人参とビタミンB₆を配合。カフェインレスで、おいしく飲みやすい炭酸タイプのリフレッシュドリンクです。「タフマン」ブランド初の缶容器タイプにふさわしいスタイリッシュなデザインを採用しました。



その他事業部門



売上高構成比

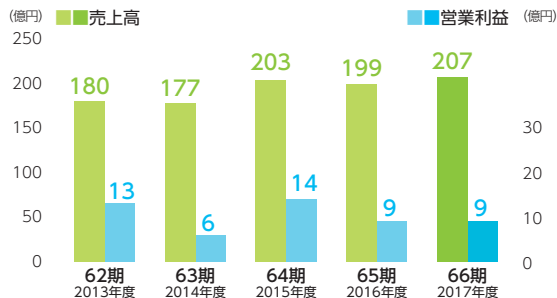
当期

売上高

207 億円
(前期比: 4.1% ▲)

営業利益

9 億円
(前期比: 5.1% ▲)



その他事業部門には、化粧品の製造販売およびプロ野球興行などがあります。

化粧品については、当社が創業以来培ってきた乳酸菌研究から生まれたオリジナル保湿成分[S.E.(シロタエッセンス)]の「価値普及」に重点をおき、基礎化粧品の主カブランドである「パラビオ」「リベシィ」および「リベシィホワイト」を中心としたカウンセリング型訪問販売活動を継続して展開しました。

また、昨年6月には植物由来の当社オリジナル成分「水丁香

エキス」を新たに配合した「リベシィ」シリーズをリニューアル発売しました。さらに、昨年11月には乾燥による小ジワを目立たなくするクリーム状美容液「エジティックス モイストリペア エッセンス」をリニューアル発売し、お客さま満足度の向上と売り上げの増大に努めました。

一方、プロ野球興行については、神宮球場において各種イベントやさまざまな情報発信を行うなど、積極的なファンサービスに取り組んだ結果、入場者数が増加しました。

「健康経営優良法人2018～ホワイト500～」に認定

“ヤクルトでは、「人々の健康に貢献する」という理念の実現には従業員の健康が不可欠であるとの認識に立ち、従業員の心身の健康保持・増進および安全・安心な職場環境づくりに努めます。”という「健康宣言」を行い、従業員の健康増進に取り組んでいます。こうした取り組みが評価され、経済産業省が日本健康会議と共同で推進している「健康経営優良法人～ホワイト500～」に認定されました。今後も従業員の健康に配慮し、さまざまな取り組みを推進してまいります。



Consolidated Financial Statements

連結貸借対照表

単位：億円

科目	第65期 平成29年3月31日現在	第66期 平成30年3月31日現在
資産の部		
流動資産	2,287	2,503
固定資産	3,569	3,809
有形固定資産	1,982	2,011
無形固定資産	54	57
投資その他の資産	1,531	1,739
資産合計	5,857	6,312
負債の部		
流動負債	1,141	1,618
固定負債	947	827
負債合計	2,088	2,445
純資産の部		
株主資本	3,463	3,389
資本金	311	311
資本剰余金	415	415
利益剰余金	3,141	3,185
自己株式	△404	△523
その他の包括利益累計額	△28	132
その他有価証券評価差額金	261	352
為替換算調整勘定	△265	△207
退職給付に係る調整累計額	△23	△12
非支配株主持分	333	344
純資産合計	3,768	3,866
負債・純資産合計	5,857	6,312

連結損益計算書

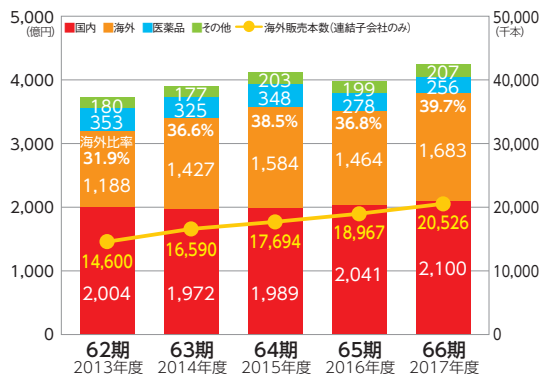
単位：億円

科目	第65期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで	第66期 平成29年4月1日から 平成30年3月31日まで
売上高	3,783	4,015
売上原価	1,639	1,716
売上総利益	2,143	2,299
販売費及び一般管理費	1,770	1,864
営業利益	372	434
営業外収益	133	118
受取利息	29	39
受取配当金	16	18
持分法による投資利益	44	38
その他	42	21
営業外費用	12	22
支払利息	7	6
支払補償費	2	9
その他	2	6
経常利益	493	530
特別利益	2	8
固定資産売却益	2	1
その他	0	6
特別損失	9	3
固定資産除却損	3	3
その他	6	0
税金等調整前当期純利益	486	534
法人税、住民税及び事業税	124	130
法人税等調整額	12	17
当期純利益	349	386
非支配株主に帰属する当期純利益	48	45
親会社株主に帰属する当期純利益	301	340

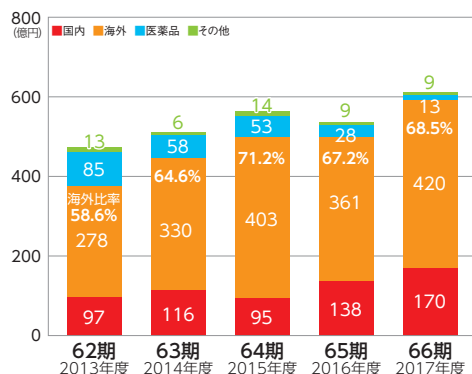
平成30年3月期のポイント

1. 全体は増収・増益
売上高、各段階利益とも過去最高を更新
2. 国内飲料は、乳製品のマーケティング投資継続による販売本数増等により増収・増益
3. 海外飲料は、アジアを中心とした販売本数の増加等により増収・増益
4. 医薬品は、エルプラットの売上数量の減少および販売費の増加等により減収・減益

売上高推移(連結) (注)セグメント間売上高の消去前金額で表示しています。



営業利益推移(連結) (注)全社費用等の調整前金額で表示しています。



連結キャッシュ・フロー計算書

単位：億円

科目	第65期	第66期
	平成28年4月1日から平成29年3月31日まで	平成29年4月1日から平成30年3月31日まで
① 営業活動によるキャッシュ・フロー	599	619
② 投資活動によるキャッシュ・フロー	△449	△302
③ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△137	△219
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	10
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△66	108
現金及び現金同等物の期首残高	1,017	951
現金及び現金同等物の期末残高	951	1,059

キャッシュ・フローのポイント

- ① 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益534億円、減価償却費215億円があった一方、法人税等の支払額が143億円あったこと等により、619億円(前期比19億円の収入増)となりました。
- ② 投資活動によるキャッシュ・フローは、主に定期預金の預入や生産設備の増設等による固定資産の取得があったことにより△302億円(前期比147億円の支出減)となりました。
- ③ 財務活動によるキャッシュ・フローは、主に自己株式の取得や配当金の支払い等があったことにより△219億円(前期比82億円の支出増)となりました。

- より詳細な財務情報は、当社ホームページの「IR情報」で各種資料がご覧いただけます。

<http://www.yakult.co.jp/company/ir/>

ヤクルト IR情報

検索

数字でわかる!

ヤクルト

ヤクルトは創業当初より乳酸菌の研究のパイオニアとして多くの知見と実績を積み重ね、世界の一人でも多くの方々に健康で楽しい生活を提供することを目指しています。この特集記事では、そんなヤクルトの事業活動を数字からご説明します。

累計論文総数

1,400報

※2016年4月末時点で専門誌に掲載された当社研究員による原著論文等および外部研究者による当社の基礎研究・応用研究に関する研究内容(乳酸菌シロタ株に関する研究を含む)の原著論文等を累計した概数。



ヤクルト中央研究所

成長
スパイラル

1935年

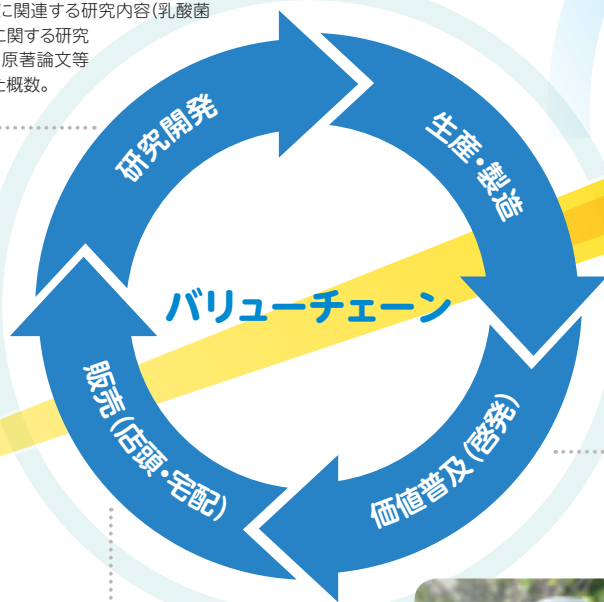
乳酸菌のパイオニアとして80年以上

「ヤクルト」は、1935年の創業以来、80年以上にわたって世界中で親しまれている商品です。長年にわたる豊富な研究実績を積み重ねています。

乳酸菌 シロタ株の
実績

- 特定保健用食品(トクホ)の関与成分として表示許可を取得(国内)
- GRAS[®]認証取得(米国)
- 国際宇宙ステーション(ISS)におけるプロバイオティクス継続摂取実験にも採用

※米国の食品医薬品局(FDA)が設定する食品安全性に関する独自の審査制度

世界に広がる
ヤクルトレディの人数 **8**万人

世界で8万人以上のヤクルトレディが、健康をお届けしています。

※2018年3月期



38

の国と地域に
事業展開
(日本含む)

※2018年3月期

世界中で1日に飲まれている
乳製品本数

3,952

万本

世界で飲まれている
ヤクルトの乳製品本数
(2018年3月期1日
当たり平均)です。

ヤクルトが進出している国と地域の
販売対象人口(日本含む)

22

億人 / 76億人

まだまだ成長は続きます。

※2018年3月期

企業の
社会的責任
CSR

— 企業理念 —

私たちは、
生命科学の追究を基盤として、
世界の人々の健康で楽しい
生活づくりに貢献します。



成長
スパイラル

価値普及(啓発)
活動

Close
Up

→ 詳細はP11を
ご参照ください。

日本

海外

出前授業

27万人
(3,800回実施)

229万人
(39,700回実施)

健康教室

38万人
(11,800回実施)

541万人
(102,700回実施)

工場見学

26万人
(24,200回実施)

50万人
(9,200回実施)

※2018年3月期

ヤクルトレディによる地域貢献

愛の訪問活動

41,000

人

の一人暮らしの高齢者に対して、3,090人のヤクルトレディが安否確認を実施



地域見守り・防犯活動

25,000

人

のヤクルトレディが785の自治体・警察・
消防などと協力して活動

※2017年3月期



世界のヤクルトグループ
従事者数における女性比率

(ヤクルトレディを含む)

※2018年3月期

83

%

Close
Up

価値普及(啓発)活動

すべての方が 健康で楽しく暮らせる地域を目指して

ヤクルトは「健康で楽しい生活づくり」を目指し、健康に役立つ商品をお届けするだけでなく、出前授業や健康教室、工場見学などを通じ、地域にお住まいの皆さまの健康づくりに貢献する活動を幅広く行っています。

出前授業

健康教室

おなかの健康について楽しく学ぶ機会を提供

当 社支店や各地域の販売会社社員が小学校などに出向き、腸の大切さや「いいウンチ」を出すための生活習慣について、模型などを活用して、わかりやすく説明する「出前授業」を行っています。この取り組みは高い評価を受けており、日本食育学会誌にも好事例として掲載されました。2017年度の全国での実施回数は約3,800回、参加者数は約27万人にのぼっています。海外では、香港、タイ、マレーシア、インド、中国などで約39,700回実施し、約229万人が参加しました。また、各地域の販売会社社員やヤクルトレディが講師となり、腸の大切さやプロバイオティクス、季節に流行する疾患等、幅広いテーマで「健康教室」を開催しています。



小学校での出前授業

工場見学

安全・安心な 商品づくりや企業姿勢を 深く知っていただく

ヤ クルトグループの各工場では、環境に配慮し、お客さまに安全・安心な商品をお届けするという企業姿勢や当社の商品をより深く知っていただくため、工場見学を積極的に受け入れています。お子さまから高齢者の方、小学生の社会科見学や環境学習、そしてオピニオンリーダーや、健康に関心の高い方々の情報収集の場として活用されています。2017年度は、化粧品工場を含む、本社6工場、ボトリング会社5工場に約26万人の方々が来場されました。海外でも、香港、フィリピン、シンガポール、インドネシア、マレーシア、ベトナム、インド、中国、アメリカ、メキシコ、ブラジル、ヨーロッパなどで工場見学受け入れを積極的に実施し、約50万人の方々が来場されています。



入口が口に、出口がおしりになった展示室「おなかのトンネル」で胃や腸のしくみと働きを楽しんで学ぶ小学生(福島工場)

L. カゼイ・シロタ株の継続摂取が日本人2型糖尿病患者にもたらす効果

～腸管バリア機能強化による慢性炎症の抑制の可能性～

糖尿病の発症メカニズムや病態の理解、新薬の開発に道を開く可能性

順天堂大学大学院医学研究科・代謝内分泌内科学は、株式会社ヤクルト本社との共同研究でプロバイオティクス飲料(400億個のL.カゼイ・シロタ株含有)の継続摂取が日本人2型糖尿病患者の腸内フローラを変化させ、慢性炎症の原因となる腸内細菌の血液中への移行を抑制することを世界で初めて明らかにしました。

私たちの腸内にはおよそ1000種類、約100兆個を超える腸内細菌がすみつき、複雑な生態系を形成しており腸内フローラと呼ばれています。腸内フローラは私たちの健康や病気の予防などに大きく関与し、腸内フローラのバランスが乱れると健康に悪影響を及ぼすことが示されています。

2型糖尿病患者では、腸内フローラのバランスが乱れていること、さらに腸内フローラの乱れから腸管バリア機能が低下することにより腸内細菌が血液中へ移行しやすい状態が起こります。2型糖尿病では、インスリンが作用する臓器の慢性炎症が問題となっており、これには腸内フローラの乱れや腸内から血液中に移行した腸内細菌がリスクとなるため、腸内フローラを適切な状態に維持し、血液中への細菌の移行を抑えることが慢性炎症の予防には必要です。

この度の成果は、2型糖尿病のさらなる病態解明や、腸管バリア機能の強化による慢性炎症抑制をターゲットにした糖尿病の新薬開発につながる可能性があります。本研究は英科学雑誌「Scientific Reports」の電子版(2017年9月21日付)に公開されました。

■ 研究内容の詳細は以下でご確認いただけます。

プレスリリース >>> <http://www.yakult.co.jp/news/file.php?type=release&id=150847060513.pdf>

研究調査の概要

2型糖尿病患者をプロバイオティクス摂取群と非摂取群に無作為に割り付けを行い、便中および血中の腸内フローラの解析を行いました。

2型糖尿病患者 **70名**

非摂取群 飲料摂取群

プロバイオティクス飲料を継続摂取
(400億個の
L.カゼイ・シロタ株含有)



プロバイオティクス飲料の
摂取16週後において、
便中のラクトバチルス属菌が増加し
血液中の細菌数は減少しました

ヤクルト類



▲ New ヤクルト ▲ Newヤクルト カロリー-half ▲ ヤクルト 400 ▲ ヤクルト 400LT ▲ ヤクルト Ace ▲ 毎日飲むヤクルト (セブン&アイグループ限定) ▲ シンバイオティクス ヤクルトW

その他の乳製品



◀ **ミルミル**
大腸ではたらくビフィズス菌 B Y 株を、1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむタイプのヨーグルトです。程よい甘さでスッキリとしたミルク味に仕上げています。



◀ **ミルミルS**
大腸ではたらくビフィズス菌 B Y 株を1本(100ml)に120億個以上含んだ、のむタイプのヨーグルトです。ガラクトオリゴ糖、食物繊維、コラーゲン、鉄、葉酸などが入っています。すっきりとしたヨーグルト味です。

▼ **ジョア** (プレーン、ストロベリー、ブルーベリー、マスカット)
腸内に生きて到達する乳酸菌 シロタ株が入った、のむヨーグルトです。



▼ **BF-1**
ストレス社会で生きる、現代人のために開発した、胃ではたらくビフィズス菌 (B.ビフィダム Y株) を1本 (100ml) に10億個以上含んだ、乳製品乳酸菌飲料です。

▶ **プレティオ**
GABA(γ-アミノ酪酸)を1本(100ml)に10mg以上含む、血圧が高めの方におすすめの乳製品乳酸菌飲料です。



▼ **ヤクルトのはっ酵豆乳**



▶ **ジョア** (食べるタイプ) (アロエ、ブルーベリー)
▼ **ソファール** (プレーン、LT、ストロベリー、元気ヨーグルト)



ジュース・清涼飲料



◀ 手軽に蕃爽麗茶
(粉末タイプ)

▲ 蕃爽麗茶



▲ アムラサキ ▲ 爽涼健茶



▲ タフマンシリーズ
(タフマン、タフマンV、タフマンスーパー、
タフマンリフレッシュ)



◀ オリゴ糖入り
梅ドリンク

▲ 黒酢ドリンク

純米熟成黒酢とうめ果汁を組み合わせ、ガラクトオリゴ糖を1個当たり2.5g含んだ特定保健用食品のビネガードリンクです。

▼ ぎゅっと健康シリーズ
(アスタキサンチン、カシス、グルコサミン)



▼ ヤクルトの美味しい
はっ酵果実



◀ CHOBI
(チョビ)

レモリア▶

テアニン(緑茶の旨味成分)を含み、レモン果汁と7種のハーブエキスが程良く調和したリラックス飲料です。



▼ ヤクルトの乳性飲料ミルージュシリーズ
(Ca125、200、280、ミルージュ(500ml))



▼ ミルージュ
ホワイト
ウォーター

▼ ミルージュ
ソーダ



▼ ラックミーシリーズ
(コーヒー、バナナ)



▼ 調製豆乳
国産大豆使用



Products Lineup

ジュース・清涼飲料



▲お茶



▲珈琲たいむシリーズ
(ミディアム、カフェラテ、ブラック)



▲カフェ・オレ



▲マイルドシリーズ
(カフェ・オレ、いちご・オレ、抹茶・オレ)



▲ココア



▲コーンポタージュ

▼きになる野菜シリーズ (アップル&キャロット、白ぶどう&ほうれん草、100シリーズ:1食分の野菜 β-カロテン、1食分の野菜 ポリフェノール、贅沢野菜1日分)



▼野菜ジュース
野菜ジュース(食塩無添加)



▼トマトジュース
(数量限定)



▼搾りたてにんじん
(数量限定)



▼(左から) みかん・オレンジジュース、アップルジュース、パイナップルジュース、グレープフルーツジュース



▼完熟王林
(数量限定)



ミネラルチャージ▶

▼さっぱりシリーズ
(りんご、パイン Sparkling)



健康食品



◀ 毎日うれしい
ケールの青汁



▶ ごくごく飲める
大麦若葉栄養アップ



▶ サプリズムシリーズ
(コラーゲン、フコイダン、ブルーベリーA、
グルコサミン、マルチビタミン&ミネラル、DHA&EPA)

めん類

▼ 麺許皆伝シリーズ
(しょうゆ味、みそ味、しお味、
ソース焼そば、カレーラーメン)



◀ 神崎めんシリーズ
(そうめん、ひやむぎ、中めん、うどん、そば)



◀ 手延べそうめん

▶ 乾麺物語シリーズ
(とんこつしょうゆらーめん、
カレーうどん、汁なし担々麺、
しょうゆらーめん、
冷し中華(期間限定))

医薬品

医療用医薬品



▲カンプト ▲エルプラット



▲シスプラチン ▲ゲムシタビン



その他

ヤクルトBL 整腸薬シリーズ



▲ヤクルトBL 整腸薬 ▲ヤクルトBL 整腸薬S錠

▲アロエ便秘薬

▲アイのチカラ

化粧品

スキンケア



▲パラビオ



▲リベシオホワイト



▲リベシオ



◀プラチナケア
S.E.ローション



▶ラクトデュウ
S.E.ローション



▼ラクトデュウ
S.E.ヒアルロン
ジェル



▼ヤクルト
ビューティエンス
ブリリアント
~ザ クリーム~

メイクアップ



▲パラビオ



▲グランティアEX



◀エジティックス
モイストリペア
エッセンス



▶ビスイクル
リフトリペア
エッセンス

▶パラビオ
ACクリーム
サイ



◀クリスタンス
ホワイトリペア
エッセンス

ボディケア

POSHMAMA シリーズ

(左)薬用ハンドクリーム▶
(右)ファミリーサンスクリーン®



Globalizing the Yakult Network

現在、日本を含む38の国と地域(2018年3月末現在)で、
 主として乳製品乳酸菌飲料「ヤクルト」の製造、販売を行っており、
 世界中で毎日3,500万人を超える方々(2018年3月期 1日平均販売本数3,952万本)に
 ご愛飲いただいています。

【世界の販売本数】



海外：2017年1月～12月の1日当たり平均本数
 日本：2017年4月～2018年3月の1日当たり平均本数

EUROPE

▶国と地域：12
 ▶1日当たりの販売本数：64万本

ヨーロッパ地域

- オランダ
- ベルギー
- フランス
- イギリス
- ドイツ
- ルクセンブルク
- スペイン
- アイルランド
- オーストリア
- イタリア
- マルタ
- スイス

THE AMERICAS

▶国と地域：6
 ▶1日当たりの販売本数：579万本

米州地域

- ブラジル
- メキシコ
- ウルグアイ
- アメリカ
- カナダ
- ペリリーズ

JAPAN

日本 ▶1日当たりの販売本数：969万本



ASIA AND OCEANIA

アジア・オセアニア地域

▶国と地域：19
 ▶1日当たりの販売本数：2,340万本



- 台湾
- 香港
- タイ
- 韓国
- フィリピン
- シンガポール
- ブルネイ
- インドネシア
- オーストラリア
- 中国
- マレーシア
- ニュージーランド
- ベトナム
- インド
- アラブ首長国連邦
- オマーン
- バーレーン
- カタール
- クウェート

株式会社ヤクルト本社

ヤクルト本社

★本店：1 ■支店：5

◆研究所：1 ▲工場：7

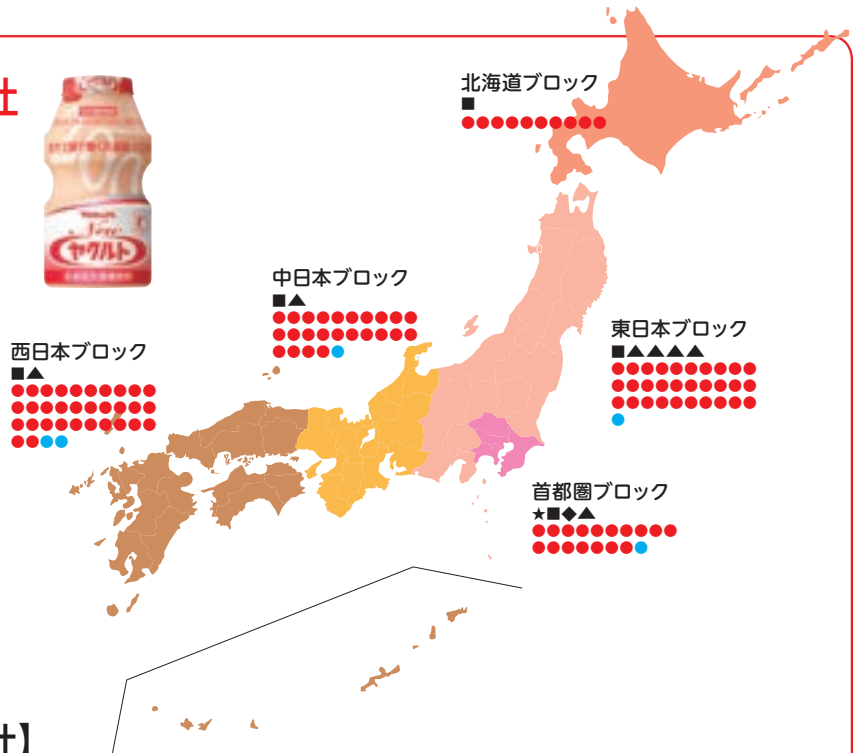
●販売会社 113社

(うち連結子会社 24社)

ヤクルトレディ 約 34,900人

ヤクルトビューティ 約 5,100人

●ボトリング会社 5社 (連結子会社)



【日本国内の連結子会社】

- 株式会社ヤクルトアセットマネジメント
- 株式会社岩手ヤクルト工場
- 株式会社千葉ヤクルト工場
- 株式会社愛知ヤクルト工場
- 株式会社岡山和気ヤクルト工場
- 株式会社福岡ヤクルト工場
- ヤクルト商事株式会社
- 株式会社ヤクルトマテリアル
- 株式会社ヤクルト球団
- ヤクルト食品工業株式会社
- ヤクルト薬品工業株式会社
- 株式会社ワイ・ビー・シー
- ヤクルトヘルスフーズ株式会社
- ヤクルトサポートビジネス株式会社
- 株式会社ヤクルトライフサービス
- 株式会社ホテルサン沖縄
- 株式会社ヤクルト・マネジメント・サービス
- 有限会社広島保険サービスセンター
- 株式会社はこだてわいん
- ヤクルトロジスティクス株式会社
- 南北海道ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北北海道
- 大船渡ヤクルト販売株式会社
- 宮城中央ヤクルト販売株式会社
- 埼玉西ヤクルト販売株式会社
- 千葉県ヤクルト販売株式会社
- 東京ヤクルト販売株式会社
- 京北ヤクルト販売株式会社
- 北信ヤクルト販売株式会社
- 新潟中央ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト東海
- 岐阜ヤクルト販売株式会社
- 名古屋ヤクルト販売株式会社
- 愛知中央ヤクルト販売株式会社
- 三重ヤクルト販売株式会社
- 近畿中央ヤクルト販売株式会社
- 和歌山ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト北陸
- 福井ヤクルト販売株式会社
- 株式会社ヤクルト山陽
- 新広島ヤクルト販売株式会社
- 山口ヤクルト販売株式会社
- 中央福岡ヤクルト販売株式会社
- 沖縄ヤクルト株式会社

会社概要

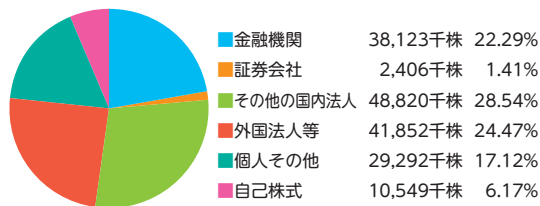
商号 株式会社ヤクルト本社
(Yakult Honsha Co., Ltd.)
設立 昭和30年4月9日
本店 東京都港区東新橋1丁目1番19号
電話 03(3574)8960(大代表)
資本金 311億17百万円
従業員 2,848人

(注) 上記従業員数には、関係会社等への出向者296人および嘱託124人を含んでいます。

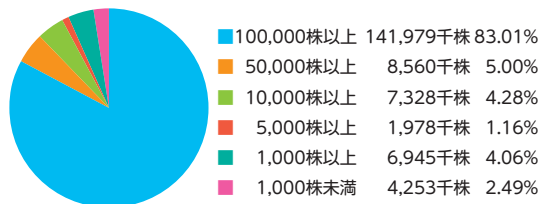
株式の状況

発行可能株式総数…………… 700,000,000株
発行済株式総数…………… 171,045,418株
株主数…………… 30,425名

所有者別分布状況



所有株式数別分布状況



役員 (平成30年6月20日現在)

代表取締役社長	根岸 孝成	取締役	林田 哲哉	常勤監査役	阿部 晃範
取締役	川端 美博	取締役	平野 晋	常勤監査役	山上 博資
取締役	成田 裕	取締役	リチャード ホール	監査役	奥平 哲彦
取締役	若林 宏	取締役	安田 隆二	監査役	谷川 清十郎
取締役	石川 文保	取締役	福岡 政行	監査役	小林 節子
取締役	田中 正喜	取締役	前田 典人	監査役	吉田 宏一
取締役	伊藤 正徳	取締役	バカハルト・バリエ	監査役	手塚 仙夫
取締役	土井 明文				

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
ダノン プロバイオティクス プライベートリミテッド	10,612	6.20
株式会社フジ・メディア・ホールディングス	6,492	3.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,713	3.34
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口	4,957	2.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,681	2.74
共進会	3,994	2.34
松尚株式会社	3,417	2.00
麒麟ビバレッジ株式会社	2,458	1.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,295	1.34
株式会社みずほ銀行	2,186	1.28

(注) 共進会は、当社の取引先であるヤクルト販売会社を会員とする持株会です。上表のほか、当社は自己株式10,549千株を保有しています。

ホームページのご紹介

当社のホームページでは、会社情報、IR情報、商品情報、CSR活動などさまざまな最新情報を掲載しております。特に株主・投資家の皆さまに向けましては、トップメッセージ、決算短信、有価証券報告書のほかIRニュースなども掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.yakult.co.jp/>

株主優待

当社商品の提供 ※保有期間に応じて優待内容が異なります。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年未満)

- 当社商品「飲料、乾めんの詰め合わせ」を進呈
(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

毎年3月31日現在で100株以上所有の株主の皆さま(保有期間3年以上)

- 当社商品「飲料、乾めんの詰め合わせ」および「化粧品」を進呈
(※1,000株以上所有の株主の皆さまは商品内容が異なります)。

※発送は6月上旬の予定です。

東京ヤクルトスワローズが神宮球場で主催するプロ野球公式戦「株主優待証(外野自由席)」の提供

※外野自由席の販売がない試合(全席指定試合)はご利用できません。

毎年9月30日現在で1,000株以上所有の株主の皆さま

- 年間24ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

毎年9月30日現在で100~999株所有の株主の皆さま

- 年間4ポイント付与。1ポイントにつき、入場券(外野自由席)1枚との引き換え、1試合につき4ポイントまで利用可。

※発送は3月中旬の予定です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	
株主総会	定時株主総会	毎年6月中
	臨時株主総会	必要に応じ随時
基準日	定時株主総会の議決権	3月31日
	期末配当金	3月31日
	中間配当金	9月30日
公告掲載方法	電子公告 http://www.yakult.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	

株主名簿管理人	東京証券代行株式会社
事務取扱場所	〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (NMF竹橋ビル6F)
(郵便物送付先) 連絡先	〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター ☎0120-49-7009

株式に関するお手続きについて

1. 未支払配当金のお支払い

株主名簿管理人である東京証券代行株式会社に
お申し出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定など

お取引の証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録された株式の手続き(証券会社に開設した口座への振替など)に関しましては、すべて当社の特別口座管理機関である東京証券代行株式会社にお問い合わせください。



Yakult

株式会社ヤクルト本社

証券コード 2267

東京都港区東新橋1丁目1番19号

TEL:03-3574-8960 (大代表) <http://www.yakult.co.jp/>

